



おはようロスアンゼルス

倫理研究所U.S.A. 南カリフォルニア倫理の会

4月号会報

2202 W. Artesia Blvd. Unit L Torrance, CA 90504

Fax: (310) 323-6737

2016年(平成28年) 4月1日(金)

NO. 175

倫理文化講演会迫る

五月十五日(日)

午後一時三十分

ホリデーイン・トーランス

講師 伏木久登部長

テーマ

「いのち」を輝かせて生きる

功利的かつ合理的な判断が成功の鍵だと思われがちですが、果たしてそうでしょうか。その陰で何か大切なものを見失ってはいないでしょうか。講演会では人生を輝かせて生きるヒントが得られます。

お誘いください

会員の皆さん、日曜日の時を有意義に過ごしましょう。純粹倫理をたくさんの方に知っていただきましょう。お友達を誘って、是非、講演会においでください。

子供短歌コンクール

表彰式

応募総数64696首の内、アメリカから三人の小学生の方が佳作に入選されました。講演会のステージで表彰式を行います。

作品展示

講演会会場にはしきなみ短歌、秋津書道の力作が並びます。早めに会場にいらして、ゆつくり鑑賞ください。

図書販売

新刊書

『「いのち」の輝き』

(丸山敏秋著)

『親と子供』

どの子もみんな素晴らしい

(倫理研究所編)

その他、興味深い倫理の本がたくさん販売されます。

記念誌が出来ました

倫理USAが非営利団体として認可されてから二十年が経過したのを記念し、『設立二十周年のあゆみ』を刊行しました。

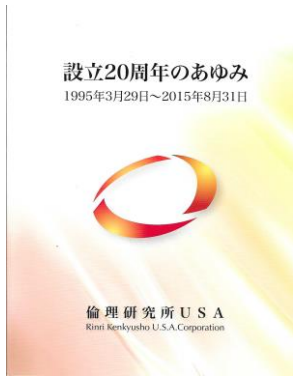
ロスの倫理の会の始まりは一九四七年です。六九年の歴史がありますが昔を知っている会員さんが少なくなってきました。今、私達の会の歴史を残さないと永久にわからなくなると、一年前に記念誌編纂委員会を作りました。

制作期間の一年間、色々なことがありました。すべてがうまく噛み合わず、投げ出したくなったことも一度や二度ではありませんでした。

でも、記念誌編纂委員会は

あきらめませんでした。倫理の会を守り続けてくださった諸先輩の御恩を思い、会の歴史を次の世代に残す責任を思い、倫理の会発展の夢を思い描いて、がんばりました。手にとり、ページを開いて感無量です。

会員の皆さん、私達の会の歴史を知ってください。こんなに明るい、こんなに笑顔の先輩たちが守ってくれた会です。私達も大いに明朗、愛和、喜働で次世代に会を渡しましょう。



ブラジル倫理の会から

おみやげ

三月十三日(日) コーヒータイムに伏木部長からスナック二袋が渡されました。

これはブラジル倫理の会の皆様から南カリフォルニア倫理の会へのおみやげで、出張の伏木部長にことづけてく

ださったものです。

Sorhode Vaba (チョコレート) Indian nuts (カシューナッツ) ブラジルの温もりを美味しくいただきました。ありがとうございました。

実践報告

三班 大竹信雄

最近、身体にやさしい食事の実践をしています。奥歯が痛くなって歯医者へ行くと、歯を抜いてインプラントにすることを勧められました。奥歯は大切です。抜くのは何としても嫌だったので、色々調べたら歯痛は食事に気を配る事で治ると書いた本がありました。

早速実行しました。朝は簡単に梅干湯とか野菜ジュースで済ませます。昼食、夕食は腹八分です。

倫理では食事のことをどう考えているのだろうかと思っていたら、二〇一〇年七月の『新世』一少食に活路ありーに健康と食事について書いてありました。倫理の先生方や多くの会員さんが少食実践者でした。

私は食事に気を配るようになって体調が良くなりました。健康で長生きをして世の中のお役に立てるよう実践を続けてまいります。

おめでとうございます

『しきなみ』三月号

群蛸集 (西東京・海外)

入選 ホン史子

入選 松永典子

真砂集 (西東京・海外)

入選 杉野和子

入選 摺木洋子

『秋津書道』三月号 競書

四席 滝川政和 芸術部 (碧の部)

入選 長谷川公子 高等部 (東京)

入選 梅本豊造 々 々

入選 堀井幸江 々 々

入選 咲田静子 々 々

入選 立川宏子 一般部 (東京) 草書

三席 前田グレース 一般部 (東京) 行書

入選 竹内康子 々 々

二席 香山幸子 一般部 (東京) 楷書

入選 大竹信雄 々 々

入選 井上郷子 々 々

入選 石岡美紀江 々 々

入選 小山春香 々 々

殊勝寺 院扁額

南カリフォルニア 前田グレース

3席 前田グレース

よくまとめられました。支苑と名前の間を少し空けて。

多端國

民準十由

南カリフォルニア 香山幸子

2席 香山 幸子

勢いよく書けています。墨色が良い。

調和体

入選 咲田静子 高等部

講演会・展示作品

文化講演会の展示作品を早めに提出してください。提出後に裏打ち作業があります。締め切りをお守りください。

講演会にお友達をお誘い下さい

しきなみ短歌

たまに会う貴重な時間を反抗期の二歳の孫に覗まれており

霜月の御所柿ゆれる赤き玉聖夜のツリーの飾りにしたき

ありがとう生きてることに感謝して残りの人生ワクワクドキドキ

朝起きてスズメのえさを今日もまき何羽くるのかまどからかぞえる 与那覇寛雄

漆黒の闇を切り裂く波の音舳先白波あわのごとくに 森田のりえ

世話になりし人の顔 (かんばせ) 浮かべつつカードを書けば筆進みおり 草野律子

雨やみて夫の頭上の大空に一瞬いでし七色の虹 摺木洋子

誇らしく十三本のローソクを吹き消す君はティーンエイジャー 松元依子

れんこんの穴を覗きて得意げに未来が見えると四世の孫等 滝川歌子

言いしれぬ淋しさ秘めて暮れてゆく晩秋の空に故郷しのぶ 杉野和子

歯の治療インプラントにブリッジと名医にかかれば懐痛む 長谷川公子

古来よりあまた歌わるる満月を今宵は私の番と詠みたり 塩出笑子

ホールにて故郷を想う聴衆に『HOME』を熱唱アンジェラ・アキは 伊澤潤子

夕食後「一献いかが」と婿が云う悩み聞きて義父のよるこび 飯田隆

孫の靴先週末までは履けていたけれども今日は窮屈という 梅本豊造

向かうバス笑い飛び交う道中も帰りのバスはただの静寂 梅本和子

参詣の人で賑わう浅草寺の傍に鎮もる三社神社 門園美枝子

青空に舞う紅葉の幾つかが手裏剣の如吾に向かいて来る 甲斐靖幸